



今年度の藤岡北高等学校学校評価の羅針盤・方策が決まりましたので、公開いたします。

## 群馬県立藤岡北高等学校 学校評価一覧表① (令和2年度版)

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	地域との交流や地域への貢献を目的とした活動や行事等に生徒の85%以上が満足している。	活動の目的を明確に理解させるために、事前・事後指導を充実させるとともに、専門的知識・技術の向上につながるよう、職員間で連携を図る。 生徒理解に努めるとともにICT機器の活用やグループ学習などで生徒が主体的な学習活動に取り組むことができるよう授業改善を図る。 生徒の将来や専門性を高めるために必要な資格、検定を生徒及び保護者に分かりやすく明示し、主体的な資格取得への働きかけを実施する。 生徒が意欲的に学習に取り組むよう、授業の展開や身近な教材の活用などを工夫するとともに、生徒及び職員が学習成果を実感できる指導に努める。
	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と75%の生徒が答えている。  ②資格取得に向けた指導に、生徒の70%以上が満足している。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	授業や「朝学習の時間」の学習に対して、意欲的に取り組んでいると自己評価している生徒が、70%以上である。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。  ②学校生活全般における身だしなみの改善・挨拶指導が十分に行われていると評価する生徒が70%以上である。	職員会議・学年会議等の議題として情報交換を実施し、すべての教職員間で情報を共有し、組織的な指導を行う。 職員間で連携をとり、HR・授業中における指導を充実させ、登校時の挨拶運動・HRなどで身だしなみ、挨拶指導を行う。 日常的にきめ細かな生徒観察を行い、懸念事項があれば早期に対応、情報共有する。特にSNSの利用については、専門機関と連携して指導に取り組む。 遅刻届を利用し、状況の把握と保護者との連携をもって指導し、生活習慣の向上を目指す。 きめ細やかに個々の対応を行い、本人・保護者との連絡を密にし、必要に応じて面談を実施する。長期欠席者に対しては、教育相談係やスクールカウンセラーと連携した生徒理解と原因把握に努め、減少を図る。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	いじめの未然防止に努め、早期発見・早期対応に努めていると評価する生徒が80%以上である。	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①遅刻率が0.8%以下である。  ②欠席率が1.5%以下である	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	学校から提供される進路情報や進路関係行事等が進路を考えるうえで役に立っていると評価する生徒が80%以上である。	キャリアパスポートやポートフォリオ等を使って進路行事の事前・事後指導を行うことで、進路学習の充実を図る。 学習・部活動・学校行事等で生徒に自己の生き方と将来の職業について考えさせる指導を行う。 職員間の情報交換を充実させ、学校全体でキャリアカウンセリングできる体制を構築する。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自己の生き方と将来の職業について考えている生徒が75%以上である。 ②目標とした進路を実現できた生徒(3年生)が80%以上である。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	マスメディアやWebページ、連絡メール等から「学校の様子がよく分かる」と評価する保護者が80%以上である。	分かりやすい内容やタイムリーな情報発信で、本校生徒の活動状況を積極的に伝える。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。			

この羅針盤は本校のHPにも掲載してあります。

# 学校を再開しました！

6月1日（月）から、群馬県のガイドラインに沿って分散登校で学校の教育活動を再開しました。

今週までは各クラスを前半後半に分けて交互に登校する形で授業を行っています。



手指消毒をし、間隔を開けて並ぶ



健康観察の記録表を提示し、非接触型の体温計で一人一人検温



机の間隔を開けての授業



1年生は各種のオリエンテーションから開始  
図書館オリエンテーション



農場での実習も再開



植物の生長は人の都合を待ってくれません  
管理作業を急ぎます